

木材業界の行方 —「潮流」から読み解く—

日刊木材新聞社 社長 岡田 直次 氏

日本の木材自給率は2002年に最低を記録しましたが、その後は回復傾向で推移しており、2017年は36.1%となっています。自給率回復の要因は、合板分野での国産材への原料転換に加え、製材・集成材分野での国産材率の増加など、木材業界の取組みの成果であると言えるでしょう。とはいえ、今後は日本の木材需要の中心を担ってきた住新設宅の着工戸数の減少が予測されており、その対応策として、非住宅分野での木材需要の拡大や輸出拡大への取組みが進められています。

このように日本の木材業界は木材マーケットの変化に対応しながら、日々変容しています。今後はSDGsやESGといった観点から、地球環境や地域経済に貢献する木材利用の在り方が益々問われる時代が到来することが予想されます。こうした木材業界を取り巻く環境の変化の中で、日本の木材業界はどのような方向へ進もうとしているのでしょうか。木材利用システム研究会として、日本の木材産業の行方についてビジョンを共有することは非常に重要であると思われます。

そこで、7月の月例研究会では、ジャーナリストの立場から半世紀にわたって木材業界を見てこられた日刊木材新聞社の岡田直次社長をお招きし、木材業界がこれまで歩んできた歴史を踏まえて、その行方について展望していただき、ビジョンづくりの契機にできればと考えています。

皆様との活発なディスカッションを期待しております。

～記～

□日 時： 2019年7月25日（木） 17：30～（受付開始：17：00～）

□会 場： 東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島ホール
場所の詳細は下記ホームページにてご確認ください。

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html

□主 催： 木材利用システム研究会

□定 員： 80名（定員になり次第、締め切らせて戴きます）

□参 加 費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は3,000円

情報交換会は実費（3,000円）を戴きます。会場準備の都合上、申込期限日以降のキャンセルはご容赦戴けますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。

□申込期限： 2019年7月18日（木） ※申込開始6月中旬予定

□申込方法： ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。

お問い合わせはメールにてお願いいたします。

木材利用システム研究会事務局：（高橋、長坂、後藤）
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1、7号館B棟438室
東京大学環境材料設計学研究室
電話：03-5841-7506
FAX：03-5841-0915
Mail：info@woodforum.jp